別紙様式1

令和8年度　学校評価表

（ 中間・最終 ）　学校名 三原市立第一中学校　校番（ 1 ）

a 学校教育目標	将来をたくましく切り拓いていく力を身につけた生徒の育成	b 経営理念 ミッション・ビジョン	【ミッション】（自校の使命） 社会のために役立とうとする志を抱く生徒の育成 【ビジョン】（自校の将来像） 信頼される学校 （保護者「通わせて良かった」、生徒「ここで学んで良かった」、地域「母校として誇れる学校」）

評価計画						自己評価					改善方策	学校関係者評価			
	c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	10月 h 達成値	2月 h 達成値	i 達成度	j 評価	k 結果と課題の分析	n 改善方策	l 評価 イ	ロ	ハ	m コメント
確かな学力	主体的に学ぶ生徒の育成	授業改善の推進	○R80を基盤とした授業構想 ○主体的な学びの推進 ○ICT及び思考ツールの活用 ○アウトプット型授業の推進 ○年間一人一回以上の研究授業及び相互参観	**①「まとめや振り返りでは、R80を使って、相手に伝わりやすい振り返りを行っている」と回答する生徒の割合【R7-90%】**	90%										
		基礎学力の向上	○「授業構想シート」を活用した授業づくり ○学力調査の結果を活用した授業改善	**②実力テスト等で全国平均を上回る生徒の割合。【R7-58.3%】**	70%										
豊かな心	自他を認め合い、共に高まる生徒の育成	発達支持的生徒指導の推進	○異年齢集団活動、生徒の自主的活動の充実 ・全校縦割による清掃活動や各種行事等の充実 ・学校行事、生徒会活動の充実	自己肯定感・自己有用感に関する質問において肯定的評価の割合【R7-77%】	90%										
		社会人としての自覚の醸成	○奉仕活動・社会貢献活動の推進 ・献血ボランティア活動・地域や校内ボランティア活動の充実 ・校区内小学校との清掃活動	「主体的にボランティア活動に取り組んでいる」と回答する生徒の割合 【R7-63%】	80%										
健やかな体	自らの健康を自ら管理できる生徒の育成	体力・運動能力の向上、食育の推進、健康的な生活習慣の確立	○新体力テスト結果の分析に基づく体力向上の取組 ○「弁当の日」の取組 ○基本的生活習慣の確立	①平日睡眠7時間以上の生徒の割合 【R7－87%】	90%										
信頼される学校	教職員の職務遂行意欲の向上	時間外勤務時間の縮減	○働き方改革の推進 ・部活動休養日、定時退校日の徹底 ○業務の効率化 ○各種行事の見直し、精選	①生徒の完全下校後、2時間10分以内に退校する教職員の割合 【R7-74%】	90%										

【j:自己評価 評価】
A:100≦（目標達成）　B:80≦（ほぼ達成）＜100
C:60≦（もう少し）＜80　D:（できていない）＜60

【l:学校関係者評価 評価】
イ:自己評価は適正である。 ロ:自己評価は適正でない。
ハ:分からない。

別紙様式1

(a)学校が教育実践において追究する理念，方向性，よりどころ，目安とされるものを記入する。
※市教育委員会教育目標
「きらりと光る郷土の“宝”の育成」
との関連性を意図したものにする。

価表　（ 中間・最終 ）

(b)校種別ミッションを記入する。
〇小学校・・・自分を愛し，夢を語る児童の育成
〇中学校・・・社会のために役立とうとする志を抱く生徒の育成

(b)自校の将来像，目指す学校像を記入

a 学校教育目標	経営理念 ョン・ビジョン	【ミッション】(自校の使命) 【ビジョン】(自校の将来像)

評価計画

c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	自己評価				改善方策	学校関係者評価			
					月 h 達成値	月 h 達成値	i 達成度	j 評価	k 結果と課題の分析	n 改善方策	l 評価 イ	l 評価 ロ	l 評価 ハ	m コメント

(c)
ビジョンから重点化した観点の3年後の目標を設定する。

(d)
当該年度の目標を設定し，具体的に設定する。優先順位の高い目標4～6つ程度に重点化，焦点化を図る。

学校経営環境分析書（SW

(e)
短期経営目標を達成するための具体的な手段，手立てを明らかにする。

(f)
市教育委員会の成果目標について，すでに達成している項目を除いたものを各校の指標とし，位置づける。

〇知・・・「基礎・基本」定着状況調査（タイプⅠ）の平均通過率80%以上，通過率30%未満の児童生徒割合0%
〇徳・・・「いじめ」及び「暴力行為」の発生件数0件
〇体・・・「体力・運動能力検査」の全種目で全国平均以上

(g)
単年度での達成が困難な場合は3年程度内を達成期間と考え，当該年度での実現に向けた適切なものにする。

ここには，中間報告・最終報告の時に，学校関係者評価委員の評価の〇の数を集計し記入する。

【学校関係者評価】
イ：自己評価は適正である。
ロ：自己評価は適正でない。
ハ：分からない。

(c)
「確かな学力」
「豊かな心の育成」
「健やかな体の育成」
「信頼される学校づくり」
などの観点から,重点を絞ること。
※これらの観点をすべて網羅して記述しないこと。(1種類ということもあり得る。ただし，「確かな学力」は必須。)
※自校の今年度の重点取組のみを記述する。
(自校の課題はもちろん，特色をさらに伸ばす，という目標でもよい。)

◎平成26年1月14日付け通知「平成26年度学校経営計画等について」に沿って，計画するようにしてください。
◎学校経営環境分析書を使った全教職員での研修を実施し,学校全体で取り組む重点についての共有化とそれによる職員の参画意識・意欲向上を図ってください。
◎学校で取り組む重点については,学校評価表と各部・学年・学級経営案等や教職員の自己申告書との目標の連鎖を図り，全教職員で同じ目標に向かって意欲的に取り組む体制をつくるようにしてください。

【j:自己評価　評価】
A:100≦(目標達成)　B:80≦(ほぼ達成)＜100
C:60≦(もう少し)＜80　D:(できていない)＜60

【l:学校関係者評価】
イ:自己評価は適正である。 ロ:自己評価は適正でない。
ハ:分からない。